

令和3年度理事長賞

令和3年11月1日、森林研究・整備機構創立記念式典（116周年）において表彰を行いました。

◆漆文化の継承と発展を目指した国産漆の増産、利用技術の開発と普及に向けた活動
田端雅進、橋田光

◆医学分野と連携した「森林及び木質材料と健康の関わり」に関する研究
森田恵美

◆森林経営管理制度における森林保険の活用促進について
福本浩一、寺田英司、藤井栄梨子

◆若齢造林地におけるニホンジカ被害対策高度化への貢献
野宮治人、山川博美、大谷達也

◆「水源林造成事業の施策指針」の作成・配付による森林施業技術の普及
森林企画課、森林事業課、資源利用課、森林防災研究領域、植物生態研究領域

◆採用活動の強化による優秀な人材の確保
江川哲

◆森林教育分野における先駆的な研究実績
井上真理子、大石康彦

◆大径材から要求性能に応じた製材品を得るための強度予測技術の開発
小林功、伊神裕司、藤本清彦、加藤英雄

◆森林における放射性物質の動態解明とそのアウトリーチに関する貢献
三浦寛、大橋伸太、橋本昌司、小松雅史、今村直広、荒木眞岳、平井敬三、篠宮佳樹



令和3年度理事長賞 受賞者

森林総合研究所研究報告

▼特集
津波に「ねばり」強い海岸林の造成に向けて

特集号「津波に「ねばり」強い海岸林の造成に向けて」の刊行によせて
玉井幸治

▼論文

クロマツと4種の広葉樹の根系発達への土壌硬度の影響
野口 宏典、小野 賢一、渡部 公一、新田 響平

海岸林の生育基盤盛土への深耕が土壌の硬さとクロマツの根の発達に与える効果
野口 宏典、小野 賢一、萩野 裕章、鈴木 寛

秋田県の海岸砂丘に生育するクロマツおよび植栽広葉樹数種の根系分布
新田 響平、野口 宏典、太田 敬之、小野 賢一、萩野 裕章、野口 享太郎、大谷 達也、宇川 裕一、小森谷 あかね、谷川 東子、平野 恭弘、鈴木 寛

海岸林の生育基盤盛土に植栽されたクロマツと広葉樹の根系発達——千葉県山武市小松と富津市富津における調査結果の検討——
宇川 裕一、小森谷 あかね、太田 敬之、小野 賢一、萩野 裕章、新田 響平、野口 宏典



◆森林総合研究所研究報告
Vol.20 No.3 (通巻 459 号)
2021 年 10 月
<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/bulletin/459/index.html>

海岸防災林造成を目的として植栽された広葉樹とクロマツの土壌特性に基づく成長と根系発達
太田 敬之、新田 響平、宇川 裕一、小野 賢一、萩野 裕章、谷川 東子、大谷 達也、平野 恭弘、小森谷 あかね、野口 宏典

▼研究資料
東日本および東北地方の海岸防災林・海浜公園の生育基盤として整備された造成土壌の特徴
小野 賢一、野口 宏典、村上 尚徳、新井 隆介、宇川 裕一、小森谷 あかね、新田 響平、福山 文子、齋藤 直彦、吉田 俊通、橋 隆一、川東 正幸、木田 仁廣、渡辺 名月、萩野 裕章、野口 享太郎、篠宮 佳樹、今矢 明宏



P.3, 8



P.8, 14, 16



P.14, 16



P.3, 8



P.3, 8, 14, 16, 22, 24



◆持続可能な開発目標 (SDGs)

森林総合研究所は、森林・林業・木材産業等の幅広い研究を通して、国連の持続的な開発目標 (SDGs) の達成に積極的に貢献しています。該当する目標と記事のページ数は、左記の通りです。

アンケートにご協力ください。

今後の紙面作りの参考にさせていただきます。みなさまのご意見をお聞かせください。➡



<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/kikan/survey/55.html>